

令和4年度第3回宇土市地域公共交通会議・宇土市地域公共交通活性化協議会議事録

1 開催日時

令和5年1月16日（月） 14時～14時50分

2 開催場所

宇土市浦田町51
宇土市役所別館2階講習室

3 出席者（※職・氏名の記載の順序及び方法は、任意です。）

（委員）

別紙のとおり

（事務局）

宮崎企画課長，園田企画政策係長，高田主幹，益田

4 議題

報告事項

- (1) 宇土市コミュニティ交通の運行実績について
- (2) 宇土市コミュニティ交通10周年記念事業について
- (3) ミニバスルート今後の見直しについて

協議事項

- (1) 令和4年度事業評価について
- (2) デマンドバス新規指定乗降場所について

5 議事（要旨）

上記議題内容について事務局から報告を行った。

その際に表明された主な意見・質問は、次のとおり。

・報告事項(1)宇土市コミュニティ交通の運行実績について

梶委員) 宇土市デマンドバスの実績運行回数が計画運行回数よりも減便となっているが理由は何か。

事務局) 計画運行回数は、1日当たりの運行便数6便のうち8割の運行を見込んで計画していたが、実績は1日当たり2.5回と4割程度の運行となり、需要が計画よりも少なかったため減便している。

谷崎会長) 需要が少ないということは、更なる利用者への周知が必要である。

桑原委員) ミニバス「のんなっせ」について、網津緑川線の増加理由及び、宇土北部線の減少理由は何か。

事務局) 網津緑川線については、追便が発生するほど利用者が増加している。一方で宇土北部線については詳細な理由は不明だが利用者が減少している。

大久保委員) 宇土北部線の運行事業者からの意見として、毎日のように利用されていた2人の方がお亡くなりになったり、2人の方が施設に入られたりなど利用がなくなった。

のんなっせは、固定客が多い。固定客が減ると相対的に利用者も減少する。

谷崎会長) ルートの見直しやダイヤの変更等による影響はないか。

事務局) 昨年からは宇土北部線において、路線バスの廃止に伴う乗降場所の追加を行い、延伸している。新規乗降場所の利用者も少なからずいらっしゃるの、利用者減少の直接的な要因としては言い難い。

・報告事項 (3) ミニバスルート今後の見直しについて

田村委員) 今回の検討ルートは、今後具体的なルート等について決定し、再度協議会にて審議するのか。

事務局) 今後具体的なルートについて検討し、次回の協議会協議事項として審議いただく予定。

・協議事項 (1) 令和4年度事業評価について

谷崎会長) 「のんなっせ」轟線の利用者がなかなか伸びないようだが理由はあるか。

橋口委員) 轟線は運行地域が比較的宇土市街地に近く、利用者が固定化している。特に轟線は新規の利用者が増えず、施設入所等で利用者の減少の要因しかないため、利用が低迷している。利用者の増加には新規利用者の掘り起こしが必要ではないか。

・協議事項 (2) デマンドバス新規指定乗降場所について

田村委員) 既存の交通機関と競合していないか。

事務局) 価格設定を路線バスよりも高めに設定することで路線バスとの差別化を図っている。なお、県道14号を運行する路線バス(別紙地図⑤宇土駅-松橋線)と国道57号線を運行する路線バス(別紙地図⑩三角産交-赤瀬-宇土駅)は、網田地区からの運行となるデマンドバスとは競合しないと考えている。

6 次回開催日時(予定)

令和5年6月初旬